



発行所 財団法人兵庫消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 関山 巧  
定価 1部金44円  
題字 井 戸 知 事

火は消した？  
いつも心に  
きいてみて

# 平成十六年度 理事会・代議員会開催

## 兵庫消防協会

平成十六年五月二十五日(火) 新神戸オリエンタルホテルにおいて  
兵庫消防協会理事会・代議員会を開催しました。  
理事会・代議員会の主な議案等は次のとおりです。



### 第一号議案

平成十五年度事業報告及び同  
普通会計歳入歳出決算承認につ  
いて

#### ●事業の実施状況

- ・ 会議の開催
- ・ 防火思想の普及
- ・ 機関紙の発行
- ・ 事業調査研究事業
- ・ 教育訓練事業
- ・ 消防操法大会事業
- ・ 自治体消防五十五周年記念事業
- ・ 表彰事業
- ・ 福利厚生事業
- ・ 地区振興事業
- ・ 消防団強化対策事業
- ・ 救助資機材等の整備貸与事業

#### ◎普通会計歳入歳出決算報告

- 歳入額 四一、一九一、七七一円
- 歳出額 四〇、七〇一、二三二円
- 差引残額 四九〇、四八五円

### 第二号議案

特別会計等の現計承認につい  
て

- ・ 特別会計現計  
一〇四、三二九、三一九円
- ・ 基本財産会計現計  
一、四〇〇、〇〇〇円

- ・ 消防福祉基金会計現計  
一、〇〇一、〇九四円
- ・ 弔慰見舞金積立会計現計  
一、五三九、四〇〇円
- ・ 消防互助年金会計現計  
一、〇八二、七七三円
- ・ 大規模災害義援金会計現計  
四六、二九四、二四九円

### 第三号議案

財団法人兵庫消防協会寄附  
行為並びに同寄附行為施行規則  
の一部改正について

- ・ 支部名のうち「養父郡」を  
「養父市」に改める。(こ  
の寄附行為の改正は、兵庫  
県知事の許可のあった日か  
ら施行する。)
- ・ 養父市支部に改められたこ  
とに伴い、同支部の代議員  
の定数を「四」から「二」  
とする。このことにより、  
代議員の総数が「二四〇」  
から「一三八」となる。

### 報告事項

- ・ 平成十六年度兵庫消防協  
会事業計画及び同収支予算  
について
- ・ 消防団員の教育訓練につ  
いて
- ・ 第二十回兵庫消防操法大  
会の開催について
- ・ 震災十周年「地域防災のつ  
どい」の開催について

# 兵庫消防協会 盛大に行われる

平成十六年度兵庫消防協会表彰式が五月二十日(木)に神戸市中央区の兵庫県公館で執り行われ、二〇六名の方々が受賞されました。今回は表彰状の用紙に兵庫指定重要無形文化財の「杉原紙」が使用され、知事から各功労の代表者に手渡され、表彰式終了後は同公館内の屋上庭園において祝賀会も行われました。なお、消防関係の受賞者は、次のとおりです。

## 第二十回

## 兵庫消防操法大会開催迫る

### 兵庫消防協会

第二十回兵庫消防操法大会が来る八月二十九日(日)に開催されます。会場は、今回から今年四月に三木震災記念公園(仮



第19回兵庫地区消防操法大会の様子

### ◎消防功労(消防団・職員)

- 尼崎市消防団 団長 生越 敏雄
- 芦屋市消防団 団長 谷口 孟
- 社町消防団 団長 吉田 繁
- 山東町消防団 団長 南 巧
- 元神戸市消防局 消防正監 松本 正義
- 姫路市消防局 消防正監 橋本 信昭

称)内にオープンした兵庫県立広域防災センターに場所を移すことになっており、真新しい専用施設での大会となります。県下各地区では地域の消防操法大会も次々と開催されており、県大会への出場も決まっております。地区大会の情報につきましては、当協会が把握できる範囲でホームページ内「消防お知らせボード」で紹介していきますので、是非ご覧下さい。また、自主的な情報提供のホームページ掲示板への書き込みもお待ちしております。

なお、今年度の全国大会はサッカーワールドカップの会場ともなった「横浜国際総合競技場」で行われます。テレビ放映(NHK)も予定されていますので、既に県大会出場を決められた隊はもちろん、これから地区大会に臨まれる隊の皆さんもぜひ全国大会出場を目指して頑張ってください。健闘をお祈りいたします。



元緑町消防団長

前川 有



遠い思い出になります。私が消防団に入団したのは今から約五十五年前のことです。

当時の八分団のうち動力ポンプがあったのは二分団だけで、他は手押しポンプでしたが、私の分団には幸い動力式がありました。その後経済の発展とともに消防資機材も整備され、各分団ともポンプ自動車及び車載可搬式ポンプが配備され、私が団長を拝命いたしました時には、機動力が発揮できました。

消防団活動中は色々な火災に遭遇しましたが、ほとんどはこの機動力で迅速に消火できました。しかし、一度大変な思いをしたことがあります。山火事が発生し、全団員に非常招集をかけ山の裏と表から放水による消火活動は、水源が遠いためポンプ三台による中継で、日没のころやっと鎮火しました。撤収命令を下して下山しかけた時、あちこちで再び発火、団員に小枝でたたき消火を指示し、約二時間継続するも鎮火せず、皆疲れ果て、絶望かと思われたその時、夢か幻か、夕立がわかにか降り出して大雨となり、瞬く間に鎮火しました。これを神の恵みだと団員一同ずぶ濡れになりながら抱き合って喜びを分かち合いました。第一線で活躍する団員に深甚の敬意と感謝の誠を捧げ、心より頭の下がる思いであります。

ありました。

その後毎日のように火災・ボヤが続き、団員も精神的に疲れてたその時、幹部の一人が頼みしようと言、皆で伊弉諾(いざなぎ)神宮に参詣して無事故を祈願しました。その後半年ぐらいい火災の発生がなく、神の御利益に感謝感激しました。

那協会長拜命時には初出の訓辞で「我々には郡民の安全を守る義務があり、上官の命令には絶対服従だ」と厳しいことも言いました。戦後、自由の世の中で制服に身を包み、消防団員の使命を果たす姿に感銘し、我々が歩んできた誇りを感じるものでなつかしい限りです。今は「まとい会」の会員として年一回の総会に旧友と語り合えるのが楽しみです。

### 消防団今昔

31

足りました。



大西 重喜

姫路市姫路東消防団広峰分団は、日本での初の世界文化遺産に登録された国宝姫路城の北部一帯を管轄しています。管轄内には、陸上自衛隊姫路駐屯地、姫路獨協大学、兵庫県姫路競馬場など文化や経済の重要な施設が多くあります。

当地域も昭和三十年代から都市化が進展し、その背景のなかで昭和四十五年に広峰分団が発

住み良い町づくりのため、若い団員と共に頑張っています。特に地域の皆様との触れ合いを大切に、自然保護運動や文化活動、また、今日懸念されている東南海、南海地震による市民被害への対策を進めています。思い起こしてみますと、私をこのような消防団活動に駆り立てていまして、なんといつても父が初代の広峰分団長として、地域のひととの触れ合いを大切に、コミュニケーションを図りながら団活動に臨んでいる姿を覚えて育ったからかもしれせん。

特に新入団員を迎えるについては、必ず家庭を訪問し、ご両親・奥様や子供さんとお話しながら、家族の皆様の理解を得ることにしています。昨年先輩が亡くなられ、出席した葬儀も終わりに近づいた時、突然「弔辞をお願いしたいのですが」とのこと。永く消防に尽くされた日々をこの場で話してほしいというご遺族からの希望でした。自治体消防五十五年記念大会の報告をし、故人の永かった消防人生を精一杯話し終えて振り返った時に、参列者の目に涙を見て、この場で話が出来て本当に良かったと思いが止まりませんでした。今後、地域での話し合いや説明会等では、少しでも消防の魅力ややりがい伝えるべく、情熱をもって活動していきたいと思っております。

### 地区通信

#### 猪名川町消防団の活動

##### 猪名川町消防団

猪名川町は兵庫県南東部に位置し、総面積九〇・四一km<sup>2</sup>のうち八〇%以上を山林が占める自然豊かな町です。当町はその昔、東大寺大仏鑄造の際に銅を献じたと伝えられる多田銀山(多田鉦山)を中心にひらけ、多田源氏ゆかりの地として栄えたところです。現在は、「人・自然・文化」、「里山・田園とニュータウン」、「暮らす人・訪れる人」の調和を基本理念として、地域住民、ボランティア団体、民間企業などの多様な主体の参加と連携のもとに「人と自然がやさしくとけあい、未来に輝くふるさと猪名川」を将来像としてまちづくりが進められています。

猪名川町消防団は、昭和十四年四月に発足した川辺郡中谷村、六瀬村各警防団が、昭和三十

十年の両村の合併により統合され発足しました。現在、福田団長以下、副団長三名、正副分団長六十二名、団員四三三名を擁し、六小隊三十一分団の組織のもと可搬ポンプ付積載車三十一台の車両をもって活動しています。

当消防団では分団ごとの定期的な訓練のほか規律訓練、新入団員訓練、林野火災を想定した実戦訓練、水防工法訓練、救急法の訓練を行っております。また、猪名川町では全ての自治会が自主防災組織を結成し、

さらに今年度、当町では初の女性消防団員が入団しました。入団当初は周囲に不安もありましたが、四月の新入団員訓練では男性に負けない積極性と行動力を発揮し、消防団幹部も目を見張るほどでした。消防団員の入団希望者が減少しているなか、女性消防団員の入団は他の団員に良い刺激となつています。今後、更なる女性消防団員の入団と活躍が期待されています。

資機材の管理や定期的な消防訓練等を行っており、消防団と自主防災組織の連携を深めるよう、合同訓練を推進しています。さらに、出初式や年末警戒、夜間巡視、お祭りでの警備など、地域住民に親しまれる消防団を目指して活動しています。



水防工法訓練



出初式(車両行進)

## 世界へ羽ばたく!

### GMの消防自動車

大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部  
〒623-0021  
京都府綾部市本町7丁目67-2  
TEL (0773) 42-0681 (代)  
FAX (0773) 42-9229



### 吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 屈折梯子付消防ポンプ自動車 | 消防救助工作車       |
| 化学消防ポンプ自動車    | 小型ポンプ積載車      |
| 水槽付消防ポンプ自動車   | シバウラ小型動力消防ポンプ |
| 普通型消防ポンプ自動車   | 各種消防用品        |
| 高発泡機付消防自動車    | 消防用ホース        |

株式会社 吉谷機械製作所  
本社・工場 鳥取市古海356の1  
TEL (0857) 23-2211(代)  
FAX (0857) 27-1766

ある住民の防災意識の高揚を図るとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」という基本理念を再確認し、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを目指して日々努力を続けています。



「昼間時の体制強化をめざして」

黒田庄町消防団

土井 義博 団長

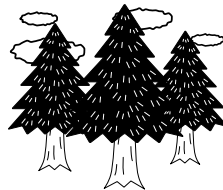


黒田庄町は、加古川上流に位置し、子午線のおとる町として知られる緑豊かな町で、今から約一、五〇〇年前には現在の大字の原型とみるべき集落がすでに形成されていた歴史ある町です。

土井団長は、昭和五十三年に入団され、平成十一年に副団長、平成十五年四月に団長に就任されました。団長は若さと行動力で団活動を活発に行い、三四五名の消防団員を統率し、地域防災活動に尽力されています。

長は最前線で活動されるタイプですので、知識と経験を災害現場で即生かすことのできる方です。また、毎月実施する放水訓練と礼式訓練、山林火災防備訓練、八分団合同の防火演習、年末警戒、文化財防火デーに伴う訓練、春秋火災予防運動中の防火パレード等、住民の信頼と期待に応える態勢づくりに努力されています。

持ち、消防協力員の体制づくりに取り組み、現在全集落において消防協力隊が結成されています。各分団ごとに協力隊との合同訓練も実施しており、火災の発生の有無を問わず、団長の指揮のもと、地域全体で防災体制を築いています。



わがまちの団長さん

⑮

「東浦花の湯の主?」

東浦町消防団

井筒 良夫 団長



東浦町は、淡路島の北東部に位置し、東は大阪湾に面しており、四季を通して温暖な気候で、カーネーション等の花卉栽培が盛んな自然豊かな町です。

井筒団長は、昭和四十六年に入団され、平成十五年四月から団長に就任されました。

団長就任後より、災害出動時において迅速に対応出来る消防団員の育成に重点を置き、実践に即した訓練を行い、特に若い団員には訓練時こそ失敗を恐れず何事も経験と、熱心に指導し

ておられます。

また、火災発生時には、初動活動が重要であることから、緊急通報を受けると同時に現場へと走り、現場での状況に応じた的確な陣頭指揮を執っておられ、団員も団長には絶大な信頼を寄せています。

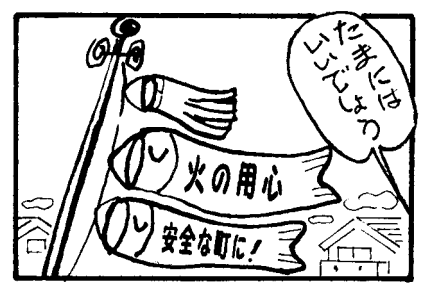
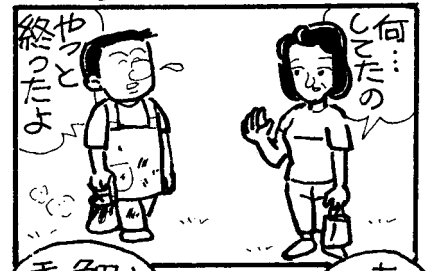
そんな団長ですが、普段は大の温泉好きで、毎日地元の温泉、「東浦花の湯」で隣接町の消防団本部の方や町内の色々な人とコミュニケーションを取りながら長い時間入浴し、今では「東

浦花の湯の主」のようになっているようです。

今後も井筒団長を中心に団員一同、地域住民の負託に応えるべく消防団一致団結し、消防使命を達成していただきたいと思っています。



ひょうり君 ⑪ 内だまはる



地区通信

大規模水防演習に参加

日高町消防団

平成十六年度円山川流域・但馬地域合同水防演習が、同演習実行委員会(国土交通省近畿地方整備局・兵庫県・但馬二市二十四町)の主催で、「洪水(みず)からの脅威、但馬を守る」をテーマに水防月間中の五月二十九日(土)に豊岡市の円山川河川敷で実施されました。当日は雨が降ったりやんだり

の天気でしたが、但馬内各消防団のほか北但消防本部、陸上自衛隊、警察、病院、日赤、建設業協会、N T T、関西電力、J R、地元自治会、学校・福祉施設など五十七の団体から約一、七〇〇人が参加し、日高町消防団からは竹中団長以下三十八名の幹部(副分団長以上)が参加しました。

この水防演習は、大型で非常に強い台風が接近し、西日本に停滞していた前線の活動が活発化し、断続的な強雨により円山川の水位が上昇したため水防警報が発令され、水防関係機関に緊急出動が発せられたとの想定で行われました。

午前九時三十分には国土交通省豊岡河川国道事務所が、円山川立野地点の水位上昇による水防警報を発表し、水防機関に対し出動を要請しました。

日高町消防団はまず準備工として土のう作り、杭ごしらえを行いました。

午前九時五十分には市民からの災害情報通報を受けた国土交通省河川パトロール隊が現地でも漏水を確認し亀裂を発見との連絡が現地対策本部に入りました。すぐに現地対策本部は漏水・亀裂対策工法の実施命令を発動し、日高町消防団は漏水対策工の「釜段工」に取組みました。

たことと思います。



準備工中(土のう作り)



二人一組で杭ごしらえ



釜段工に取組む

# 北から南から

## ふるさとの香りが漂うまち龍野

### 龍野市消防団

「夕焼小焼の赤とんぼ 負われてみたのは いつの日か」  
三木露風が、この「赤とんぼ」の歌を「櫻の実」に発表したのは、三十三歳のとき、遠く北海道のトラビスト修道院にいたころです。トラビストの台地に立つて、津軽の海を望んだとき、彼の心に去来したものは幼き日の母の思い出であり、ふるさとの思い出であったでしょう。

その心のふるさと龍野は、兵庫西南部に位置する小さな城下町です。

西播磨平野の穀倉を潤し、龍野を育んだ母なる川、揖保川が市域の中央を流れ、背後には原生林に包まれた鶏籠山を中心とする丘陵地がそびえ、その自然の織りなす四季の彩りは、ふるさとのまち、童謡の里にふさわしい風光です。

歴史的にみますと、山陽道から因幡街道にぬける交通の要衝

の地として古くから文化が栄え、寛文十二年（一六七二年）に信州飯田から脇坂安政が移封して以来、明治維新まで二百年間五万三千石の城下町として栄えてきました。

このような歴史的な背景のもとに、今なお、町の中には武家屋敷・社寺院・醤油蔵や町家が点在し、それらの佇まいが当時を偲ばせています。

自然や地理的な条件にも恵まれ、古くから醤油醸造業、手延素麺業、皮革産業が発達し、現在もその技法が受け継がれ、本市の地場産業として発展し続けています。

龍野の醤油は、約四百年の伝統があり、淡口醤油として知られ、色が深く深みのある味覚が特徴で、京料理に適し好まれていました。

また、「揖保の糸」という商標で知られる手延素麺は、奈良

の三輪、長崎の島原、香川の小豆島と並んで、広く嗜まれています。皮革は鎌倉時代からの伝統を持ち、良質のなめし皮の生産地として知られています。

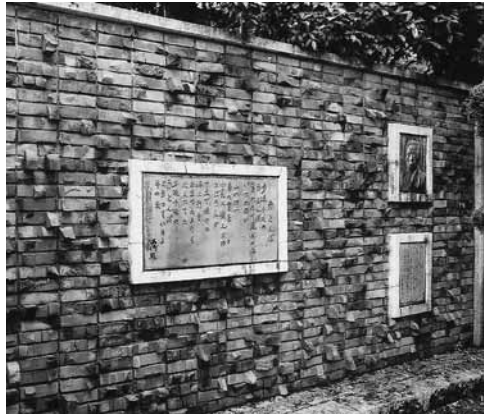
町の中では、どこからともなく麴の香りが漂ってきたり、醤油や素麺が店頭で売られていたりするのも、龍野ならではの趣なのでしょう。

さらに旧城下町の龍野地区には数多くの歴史的な遺産が残されています。鶏籠山の麓には、龍野城、家老門、武家屋敷跡があり、龍野公園一帯には、賤ヶ嶽七本槍で名を馳せた脇坂家始祖の安治を祀る龍野神社、脇坂家の別邸や孝明天皇から拝領したという書院造りを模した数寄屋風の茶室と眺望絶佳を称える庭園のある聚遠亭、相撲の元祖を祀る野見宿禰神社、白鷺山一帯にメロデーの流れる歌碑や詩碑が点在しています。

龍野には、独自の風土や歴史、文化が育み、播磨の小京都としての魅力を放っています。ふるさとの香りのするまちを散策してみてください。



聚遠亭茶室



赤とんぼの碑

# 「兵庫消防」 地区通信員会議開催

平成十六年四月三十日(金)

に第二十二回「兵庫消防」地区通信員会議を兵庫県災害対策センター会議室で開催しました。

会議では紙面の充実を図るため、様々な意見をいただきました。

編集部といたしましては、皆様から親しまれる「兵庫消防」を作成していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

本年度の地区通信員の方々をご紹介します。(敬称略)

○神戸地区  
神戸市消防局 藤森 栄二

○阪神地区

三田市消防本部 大西 孝男  
東播磨地区 高砂市消防本部 八釜 和昭

○中播磨地区  
姫路市消防局 楠田 正人

○北播磨地区  
加西市消防本部 藤原 光浩

○西播磨地区  
相生市消防本部 金谷 篤

○但馬地区  
養父市総務課 宿南 丈治

○丹波地区  
水上郡広域行政事務組合 梅垣 勝

○淡路地区  
洲本市総務課 坂本 拓也

## 編集後記

紫陽花の花が美しく咲く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では平成十六年度理事会・代議員会、また、兵庫県功労者表彰受賞の皆さんを掲載しております。また消防団今昔には元緑町消防団長前川有さん、姫路市姫路東消防団広峰分団長大西重喜さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

各地区で消防操法大会も開催され、熱戦が繰り広げられています。また、梅雨を迎え、消防業務に携わる皆様には、何かと心配の多い季節と思いますが、お体に気を付けて、お過ごし下さい。

美と力を備えた  
新しいテクノロジーが  
社会と暮らしを守り続けます。

## 安心を科学する モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪府生野区小路東5丁目5番20号  
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473  
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



## 消防 団 服

甲 種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽  
乙 種 刺子・木綿

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

## 株式会社 三浦 消防

姫路市竜野町1丁目1番地  
電話(姫路)92-0447  
(0792)98-8663

- ・操法最適ホース：コンベコスモEJ
- ・小型動力ポンプ：ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車（標準型・全自動型）
- ・消防ポンプ自動車（モリタ）
- ・消防用資機材全般



## 西垣消防器具製作所

〒669-5213 兵庫県朝来郡和田山町玉置461  
TEL:(0796)72-3131  
FAX:(0796)72-3132  
E-mail: fp-nsgk@woc.2net

